



## 平成23年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成22年10月7日

上場会社名 株式会社 オンワードホールディングス  
 コード番号 8016 URL <http://www.onward-hd.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 水野 健太郎  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役財務経理部担当 (氏名) 吉沢 正明  
 四半期報告書提出予定日 平成22年10月15日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

上場取引所 東 大名

TEL 03-3272-2317

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成23年2月期第2四半期の連結業績(平成22年3月1日～平成22年8月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年2月期第2四半期	116,417	△4.4	1,569	495.5	2,641	102.3	1,169	21.7
22年2月期第2四半期	121,821	—	263	—	1,305	—	960	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年2月期第2四半期	7.46	7.42
22年2月期第2四半期	6.13	6.11

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年2月期第2四半期	274,178	153,409	55.4	969.13
22年2月期	292,568	158,164	53.5	998.98

(参考) 自己資本 23年2月期第2四半期 151,838百万円 22年2月期 156,500百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年2月期	—	—	—	24.00	24.00
23年2月期	—	—	—	—	—
23年2月期(予想)	—	—	—	24.00	24.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 無

### 3. 平成23年2月期の連結業績予想(平成22年3月1日～平成23年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	243,300	△2.1	6,600	50.6	9,000	47.1	3,500	60.0	22.34

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 有

4. その他（詳細は、【添付資料】P.4「その他」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無

(注) 当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 無

(注) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 無

(注) 「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	23年2月期2Q	172,921,669株	22年2月期	172,921,669株
② 期末自己株式数	23年2月期2Q	16,246,759株	22年2月期	16,260,739株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	23年2月期2Q	156,676,267株	22年2月期2Q	156,649,939株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想に関する記述は、本資料の発表日現在において当社が入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。業績予想に関する事項は、【添付資料】P.3「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. その他の情報	4
(1) 重要な子会社の異動の概要	4
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	4
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) セグメント情報	9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	11

## 1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間(平成22年3月1日～平成22年8月31日)におけるわが国経済は、政府の経済対策の効果などにより緩やかな回復基調にあるものの、依然として雇用・所得環境は厳しく、欧州財政の信用不安、米国経済の回復懸念などによる急激な円高や株価低迷もあり、先行き不透明な状況で推移しました。

当アパレル業界におきましても、消費者の節約意識は依然として高く、4月から5月の異常低気温や、8月の記録的な猛暑など天候不順の影響も加わり、消費マインドの低迷が続く厳しい状況で推移しました。

このような経営環境のなか、当社グループは、国内事業では安定的な収益向上の実現のため、基幹ブランドを中心に積極的な事業施策を進めたことで確実に成果が上がってきました。一方、新たな成長戦略として、都市型商業施設やEビジネスに向けた事業も強化推進しました。また、海外事業では、欧州地区を中心に収益改善に取り組み、グローバル戦略による事業拡大に向けた基盤を整えました。

これらの施策により、中核会社である株式会社オンワード樫山においては、売上高は前年を下回ったものの、収益性が向上するとともに、国内外の各子会社においても計画通り収益改善が進みました。

以上の結果、連結売上高は1,164億17百万円(前年同期比4.4%減)、連結営業利益は15億69百万円(前年同期比495.5%増)、連結経常利益は26億41百万円(前年同期比102.3%増)、連結四半期純利益は11億69百万円(前年同期比21.7%増)となりました。

事業の種類別セグメントの状況は、次のとおりです。

#### ① アパレル関連事業

国内事業につきましては、株式会社オンワード樫山において、消費者視点から、付加価値の創造をめざして、「商品」「売場環境」「販売力」を磨き上げる基本方針を継続的に徹底したことで、基幹ブランドの売上高が前年を上回る状況となりました。収益性の高い基幹ブランドの回復に加え、ブランド軸によるメリハリの効いた効果的な運営により粗利益率の向上ならびに経費削減が図れ、売上高は前年を下回ったものの増益となりました。他の国内アパレル子会社においては、オンワード商事株式会社の業績が、企業ユニフォームの受注の落ち込みなどから減収減益になりましたが、株式会社アイランドの業績が順調に推移したこともあり、全体では増収増益となりました。

海外事業につきましては、欧州地区の子会社は、為替の影響もあり減収となりましたが、経営基盤の強化など、事業運営が計画通り進んだことで収益が改善しました。また、アジア地区の子会社は、事業拡大が順調に進み増収増益となりました。

以上の結果、売上高は1,089億77百万円(前年同期比4.8%減)、営業利益は14億83百万円(前年同期は営業利益63百万円)となりました。

#### ② その他の事業

サービス関連事業につきましては、ファッション物流事業のアクロストラנסポート株式会社が、外部受託業務が減少したことで業績は前年を下回りましたが、商業施設の設計・施工事業の株式会社オンワードクリエイティブセンターは、内装設備の投資物件が回復基調となり売上高を伸ばすことができました。

リゾート関連事業につきましては、順調に推移し収益改善が図れました。

以上の結果、売上高は110億45百万円(前年同期比5.1%増)、営業利益は71百万円(前年同期比10.7%減)となりました。

また、所在地別セグメントの状況は、次のとおりです。

① 日本

国内事業につきましては、デフレ基調や消費マインドの低迷が続く厳しい環境の下、収益性の向上を目標とし、事業の効果的な運営を推進しました。売上高につきましては、前年を下回ったものの、粗利益率の改善と、売上推移に応じた経費の効率的運用により、計画通り収益改善が進み増益となりました。

以上の結果、売上高は991億47百万円（前年同期比0.9%減）、営業利益は34億94百万円（前年同期比20.9%増）となりました。

② 欧州

グローバル戦略を推進する欧州地区の子会社は、経営体質強化やラグジュアリー市場の底打ちから経営基盤の改善が進み、売上高は為替の影響もあり減少したものの、収益の改善が図れました。

以上の結果、売上高は142億64百万円（前年同期比24.4%減）、営業損失は20億94百万円（前年同期は営業損失26億21百万円）となりました。

③ その他

北米地区は、効率経営の推進により収益改善が進みました。アジア地区は、事業拡大が順調に推移し、小売事業と生産事業ともに増収増益となりました。

以上の結果、売上高は40億75百万円（前年同期比7.7%増）、営業利益は76百万円（前年同期は営業損失2億82百万円）となりました。

## (2) 連結財政状態に関する定性的情報

（資産、負債、純資産の状況）

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ183億90百万円減少し、2,741億78百万円となりました。これは現金及び預金の減少および売上債権の減少等によるものです。負債は、前連結会計年度末に比べ136億35百万円減少し、1,207億68百万円となりました。これは主に仕入債務や借入金の減少等によるものです。純資産は47億54百万円減少し、1,534億9百万円となり、自己資本比率は、55.4%となりました。

（キャッシュ・フローの状況）

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益および減価償却費、売上債権の減少等の収入に対し、仕入債務の減少支出、法人税の支払等により3億66百万円の収入（前年同期は12億54百万円の収入）となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、売場設備への投資および投資有価証券の取得等により31億47百万円の支出（前年同期は51億24百万円の収入）となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、借入金の返済および配当金の支払が主なもので66億77百万円の支出（前年同期は35億15百万円の支出）となりました。

これらの結果、当第2四半期末における現金及び現金同等物は前連結会計年度末に比べて101億4百万円減少し、225億74百万円となりました。

## (3) 連結業績予想に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間の経営成績は、連結経営成績に関する定性的情報に記載のとおり、平成22年4月9日に公表しました業績予想に対して、売上高が下回る結果となりましたが、利益面では予想どおりの業績となりました。

通期につきましては、第2四半期連結累計期間の結果を踏まえ、平成22年4月9日に公表しました業績予想から売上高を減額変更しますが、営業利益、経常利益および当期純利益の変更はありません。

## 2. その他の情報

### (1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

### (2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

重要性が乏しい為、記載を省略しています。

### (3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

該当事項はありません。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年8月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	24,082	34,330
受取手形及び売掛金	22,343	25,730
商品及び製品	25,056	27,179
仕掛品	1,235	1,165
原材料及び貯蔵品	3,618	2,549
その他	9,691	10,587
貸倒引当金	△645	△862
流動資産合計	85,381	100,680
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	27,005	28,295
土地	53,230	53,331
その他（純額）	7,968	8,115
有形固定資産合計	88,203	89,741
無形固定資産		
のれん	45,515	47,417
その他	3,411	3,393
無形固定資産合計	48,927	50,811
投資その他の資産		
投資有価証券	31,406	31,193
その他	22,997	23,382
貸倒引当金	△2,737	△3,240
投資その他の資産合計	51,666	51,335
固定資産合計	188,797	191,888
資産合計	274,178	292,568

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年8月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年2月28日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	31,271	35,961
短期借入金	31,667	35,698
未払法人税等	1,866	4,085
賞与引当金	1,844	1,568
役員賞与引当金	122	262
返品調整引当金	445	545
ポイント引当金	143	125
その他	11,336	12,681
流動負債合計	78,695	90,929
固定負債		
長期借入金	24,090	24,053
退職給付引当金	3,325	3,273
役員退職慰労引当金	123	122
その他	14,533	16,025
固定負債合計	42,073	43,475
負債合計	120,768	134,404
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	30,079	30,079
資本剰余金	50,043	50,043
利益剰余金	116,217	118,816
自己株式	△23,461	△23,489
株主資本合計	172,878	175,450
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△7,419	△5,559
繰延ヘッジ損益	△103	△42
土地再評価差額金	△10,992	△10,992
為替換算調整勘定	△2,524	△2,354
評価・換算差額等合計	△21,039	△18,949
新株予約権	467	412
少数株主持分	1,104	1,251
純資産合計	153,409	158,164
負債純資産合計	274,178	292,568



## (2) 四半期連結損益計算書

【第2四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成21年3月1日 至平成21年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成22年3月1日 至平成22年8月31日)
売上高	121,821	116,417
売上原価	66,569	61,909
売上総利益	55,252	54,508
販売費及び一般管理費	54,988	52,938
営業利益	263	1,569
営業外収益		
受取利息	60	55
受取配当金	364	255
受取ロイヤリティー	449	411
受取地代家賃	674	547
為替差益	131	—
その他	747	1,243
営業外収益合計	2,428	2,513
営業外費用		
支払利息	592	420
売場什器等除却損	215	133
為替差損	—	493
デリバティブ評価損	300	172
その他	277	222
営業外費用合計	1,386	1,441
経常利益	1,305	2,641
特別利益		
投資有価証券売却益	2,004	—
貸倒引当金戻入額	—	558
その他	62	104
特別利益合計	2,066	662
特別損失		
投資有価証券評価損	—	43
減損損失	60	129
賃貸借契約解約損	105	—
その他	280	29
特別損失合計	446	202
税金等調整前四半期純利益	2,925	3,102
法人税等	1,992	1,933
少数株主損失(△)	△27	△0
四半期純利益	960	1,169

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成21年3月1日 至平成21年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成22年3月1日 至平成22年8月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	2,925	3,102
減価償却費	2,809	2,707
減損損失	60	129
のれん償却額	1,667	1,826
貸倒引当金の増減額(△は減少)	76	△640
退職給付引当金の増減額(△は減少)	325	276
受取利息及び受取配当金	△425	△310
支払利息	592	420
投資有価証券売却損益(△は益)	△2,004	—
売上債権の増減額(△は増加)	4,007	2,648
たな卸資産の増減額(△は増加)	2,492	244
仕入債務の増減額(△は減少)	△8,131	△3,944
その他	△3,917	△3,636
小計	480	2,824
利息及び配当金の受取額	594	465
利息の支払額	△593	△418
法人税等の支払額	△1,724	△3,547
法人税等の還付額	2,498	1,043
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,254	366
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△234	△213
定期預金の払戻による収入	111	347
有形固定資産の取得による支出	△1,352	△1,385
投資有価証券の取得による支出	△763	△1,809
投資有価証券の売却による収入	8,120	13
長期前払費用の取得による支出	△247	△328
その他	△510	228
投資活動によるキャッシュ・フロー	5,124	△3,147
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	3,128	△2,496
長期借入れによる収入	—	2,080
長期借入金の返済による支出	△1,706	△2,276
自己株式の取得による支出	△5	△5
配当金の支払額	△4,699	△3,759
その他	△232	△220
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,515	△6,677
現金及び現金同等物に係る換算差額	280	△646
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	3,143	△10,105
非連結子会社との合併に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	0
現金及び現金同等物の期首残高	23,326	32,678
現金及び現金同等物の四半期末残高	26,469	22,574

## (4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

## (5) セグメント情報

## 【事業の種類別セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 平成21年3月1日 至 平成21年8月31日)

	アパレル関連 事業(百万円)	その他の事業 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高					
(1) 外部顧客に 対する売上高	114,512	7,309	121,821	—	121,821
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	12	3,201	3,214	(3,214)	—
計	114,524	10,510	125,035	(3,214)	121,821
営業利益	63	80	143	120	263

(注) 事業区分については、当社の事業目的により、アパレル関連事業とその他の事業に区分しています。  
アパレル関連事業…………… 紳士服、婦人服等の製造販売  
その他の事業…………… 物流関連事業、スポーツ施設の経営、リゾート施設の経営等

当第2四半期連結累計期間(自 平成22年3月1日 至 平成22年8月31日)

	アパレル関連 事業(百万円)	その他の事業 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高					
(1) 外部顧客に 対する売上高	108,971	7,445	116,417	—	116,417
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	5	3,599	3,604	(3,604)	—
計	108,977	11,045	120,022	(3,604)	116,417
営業利益	1,483	71	1,555	14	1,569

(注) 事業区分については、当社の事業目的により、アパレル関連事業とその他の事業に区分しています。  
アパレル関連事業…………… 紳士服、婦人服等の製造販売  
その他の事業…………… 物流関連事業、スポーツ施設の経営、リゾート施設の経営等

## 【所在地別セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 平成21年3月1日 至 平成21年8月31日)

	日本 (百万円)	欧州 (百万円)	その他 (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高						
(1) 外部顧客に 対する売上高	99,370	18,712	3,738	121,821	—	121,821
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	672	159	44	876	(876)	—
計	100,043	18,871	3,783	122,698	(876)	121,821
営業利益又は 営業損失(△)	2,889	△2,621	△282	△15	278	263

(注) 1 国または地域の区分は、地理的近接度によっています。

2 各区分に属する国または地域は以下のとおりです。

欧州・・・ イギリス・イタリア・フランス・ドイツ

その他・・・ アメリカ・中国・韓国

当第2四半期連結累計期間(自 平成22年3月1日 至 平成22年8月31日)

	日本 (百万円)	欧州 (百万円)	その他 (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高						
(1) 外部顧客に 対する売上高	98,325	14,118	3,973	116,417	—	116,417
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	822	145	102	1,069	(1,069)	—
計	99,147	14,264	4,075	117,487	(1,069)	116,417
営業利益又は 営業損失(△)	3,494	△2,094	76	1,475	94	1,569

(注) 1 国または地域の区分は、地理的近接度によっています。

2 各区分に属する国または地域は以下のとおりです。

欧州・・・ イギリス・イタリア・フランス・ドイツ

その他・・・ アメリカ・中国・韓国

## 【海外売上高】

前第2四半期連結累計期間(自 平成21年3月1日 至 平成21年8月31日)

	欧州(百万円)	その他(百万円)	計(百万円)
I 海外売上高	12,531	8,361	20,892
II 連結売上高	—	—	121,821
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	10.3	6.9	17.2

(注) 1 国または地域の区分は、地理的近接度によっています。

2 各区分に属する国または地域は以下のとおりです。

欧州…… イギリス・イタリア・フランス・ドイツ

その他… アメリカ・中国・韓国

3 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国または地域における売上高です。

当第2四半期連結累計期間(自 平成22年3月1日 至 平成22年8月31日)

	欧州(百万円)	その他(百万円)	計(百万円)
I 海外売上高	9,183	7,686	16,870
II 連結売上高	—	—	116,417
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	7.9	6.6	14.5

(注) 1 国または地域の区分は、地理的近接度によっています。

2 各区分に属する国または地域は以下のとおりです。

欧州…… イギリス・イタリア・フランス・ドイツ

その他… アメリカ・中国・韓国

3 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国または地域における売上高です。

## (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。